

弱溶剤形 2 液変性エポキシ樹脂金属系サイディングボード改修用下塗材

ニッペ

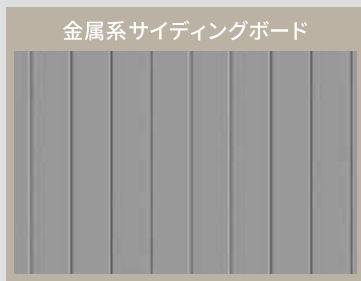
パーフェクトプライマー

PERFECT
PRIMER美しい色彩を実現するための
付帯部用下塗り塗料です。

■ 特長 金属サイディングの下塗り・付帯部の塗装に最適です。

1. 幅広い素材に対応

ステンレスやアルミといった金属系、FRP、塩ビ、木といった柔軟性のある素材まで、幅広く対応します。



2. さび止め効果

変性エポキシによるさび止め効果があります。

3. 柔軟性のある素材への適性

すぐれた可とう性（耐屈曲性）を有しているため、FRP、硬質塩ビ、木などの柔軟性のある素材に対して適性があります。

4. 付帯部に適したカラー設定

白とダークグレーの 2 色で付帯部に適した下塗り色です。

白
N9.5近似色ダークグレー
N4.0近似色※掲載しているカラーイメージは印刷のため、実際の色味とは異なります。
正確な色味については別途色見本帳でご確認ください。

■ 素材適応性

○：適応可、△：条件付き適応可、×：適応不可

素 材	電気亜鉛めっき板	溶融亜鉛めっき板 ※1	カラートタン	ガルバリウム鋼板	ブリキ板	ステンレス鋼板(SUS304)	ステンレス鋼板(SUS316)	ステンレス鋼板(SUS430)
適応性	○	△	○	○	○	○	○	○

素 材	純アルミニウム板(1050P)	アルミニウム合金板(6063S)	アルミニウム合金板(5052P)	アルマイト処理板	アルマイトクリアー板	アルマイトシルバー板 ※2	アルマイトブロンズ板 ※2	硬質塩ビ板	FRP板
適応性	○	○	○	○	○	×	×	○	○

※1 6ヶ月以上暴露された面に使用してください。それでもキラキラしている箇所はペーパー磨が必要です。 ※2 入念な研磨をしても剥離を引き起こす危険性がありますので、塗装はお控えください。

■ 塗料性状・荷姿・塗装方法

塗料名	色相	つや	容量	希釈剤	希釈率	使用量(kg/m ² /回)	塗装方法
ニッペ パーフェクトプライマー	白 ダークグレー	—	15kgセット(塗料液13.5kg:硬化剤1.5kg) 4kgセット(塗料液3.6kg:硬化剤0.4kg)	塗料用 シンナーA	0～5%	0.14～0.16	はけ・ウールローラー
					0～5%	0.16～0.18	エアレススプレー

混合：2液のため「塗料液（主剤）：硬化剤＝9：1（重量比）」に混合し、十分にかくはんしてください。

・上記の各数値は、標準的な数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により増減します。

・上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。

適用上塗り塗料・適用下地

	適用上塗り塗料			適用下地	
内外壁 付帯部	●パーフェクトトップ ●パーフェクトセラミックスG ●パーフェクトウォールマット ●ファインパーフェクトトップ	●パーフェクトトップローズ ●ファインDFセラミック ●ファインシリコンフレッシュII	●ファインSi ●ファインウレタンU100 など	●付帯金属面 ●ステンレス ●電気亜鉛めっき ●アルミ	●FRP ●木部 ●金属パネル外壁 ●各種旧塗膜の上
屋根	●ファインパーフェクトルーフ ●ファインパーフェクトベスト	●ファインパーフェクトセラミックベスト	など	●銅板屋根・トタン屋根	

※上塗りには強溶剤系塗料は使用禁止。※上記以外の上塗り塗料につきましては最寄りの営業所までお問合せください。
※適用下地については表面の素材適応性も合わせてご覧ください。

乾燥時間・ポットライフ

	5～10℃	23℃	30℃	ポットライフ
指触乾燥	2時間	1時間	30分	6時間(23℃)
塗り重ね乾燥	6時間以上10日以内	4時間以上7日以内	3時間以上5日以内	

※乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。

標準塗装仕様(塗り替え) 仕上りは上記《適用上塗り塗料》からご選択ください。

塗装工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/㎡/回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
下地調整	膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜は、周辺を含め入念に除去する。さびは電動工具や、サンドペーパー・研磨布等を用いて除去し、清掃する。						
下塗り	ニッペ パーフェクトプライマー	1	0.14～0.16	4時間以上7日以内	塗料用 シンナーA	0～5	はけ・ウォールローラー
			0.16～0.18			0～5	エアレススプレー

施工上の要点と注意事項 ※詳細な内容については、各製品の製品使用説明書などにてご確認ください。

1. 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。十分な塗膜性能を確保するため、規定の使用量をおまもりください。3. ごみ・ほこり・砂・油・樹液などは、塗装前に水洗い、溶剤拭きなどで十分に除去し、乾燥した清浄な面にしてください。4. さびは、ワイヤブラシ・サンドペーパーなどで入念に除去し、膨れ・割れの発生にも注意し、十分なクレンを行ってください。5. 鉄、アルミニウム、溶融亜鉛めっき、電気亜鉛めっきなどを塗装する場合は入念な面荒しを行ってください。6. 下地調整程度が悪い場合には、早期にさびを発生する可能性があります。7. 新木の場合の乾燥程度は含水率18%以下(ケツ科学社製HM5000シリーズで測定した場合)としてください。また節止めには必ずラックニスを塗装してください。8. 本品は規定の塗り重ね乾燥時間よりも早く上塗りを塗装しますと、縮み、割れ、乾燥不良を起こしますので、塗り重ね乾燥時間をまもってください。また、吸い込みの大きい下地や素材の場合は、塗り重ね乾燥時間は長めにとってください。短時間で上塗りを塗装しますと、溶剤による膨れや縮みなどが発生するおそれがありますので避けてください。9. 劣化の著しい外部木部については、表層剥離の恐れがありますので、施工は避けて下さい。10. 溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気をしてください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮をお願い致します。11. 所定のシンナー以外を使用したり、薄めすぎるとつや引けやダシ、かぶり不良などをきたす原因になりますので、必ず所定のシンナーおよび希釈率をまもってください。12. 硬化が不十分な場合は、シンナーで再溶解場合があります。13. 水、アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。14. 塗料を扱う場合は、皮膚に付着しないようにご注意ください。また、蒸気やミストなども吸い込まないように十分にご注意ください。15. 塗膜の乾燥過程で水分影響を受けた場合(高湿度、結露、降雨など)、塗膜表面が白化するおそれがあります。水分の影響を受けるおそれがある場合は、塗装を避けてください。16. 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこなうおそれがあります。17. 内部塗り替えにおいて旧塗膜がSOP、FEなどの油性系の場合、研磨すりを行ってください。下地処理が不十分な場合は、塗膜はく離の原因となります。18. 改修工事にご使用の場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響により、旧塗膜を侵し溶剤膨れや縮みなどの異常が発生する場合がありますので、旧塗膜の種類をご確認のうえ、塗装仕様をご検討ください。19. シーリングの上に、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。20. 素地の乾燥は十分に行ってください。21. 塗料液と硬化剤の混合割合は、必ずまもってください。混合割合が不適切な場合、塗膜性能が発現されなかったり、仕上がりや作業性が低下することがあります。22. 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。23. 塗装時および塗装後に

密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。24. 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。25. 飛散防止のため必ず養生を行ってください。26. シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペブリードオフプライマーを下塗りすることで、可塑性移行による汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。27. 笠木、天端など長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。28. 薄めすぎは隠ぺい力不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。29. 大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。30. はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、使用量、表面肌が異なるため若干の色相差がでますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。31. 汚れ、さすなどにより補修塗料が必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。32. はけなどの塗装用具の洗いは、ラッカーシンナーを使用してください。33. ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。34. 可塑剤が多く含まれる塩ビクロス、塩ビゾル鋼板、塩ビラミネート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革などへの直接塗装はお避けください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようにご注意ください。35. 表面に特殊セラミック処理・特殊ガラスコート処理、フッ素コート処理、はっ水処理、光触媒処理などの特殊な処理を施した素材には、塗料が付着しない場合や、塗膜に不具合を生じる場合がありますので塗装を避けてください。36. 上塗りに強溶剤系塗料のご使用は避けてください。37. 塗料は内容物が均一になるようにかくはんしてください。特につや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かくはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかくはんしてご使用ください。38. 開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。39. 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。40. 内容物／容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。41. 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流す環境に悪影響を及ぼすおそれがあるため、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

■本カタログ掲載商品の詳細な危険有害性情報や使用上の注意事項等については、安全データシート(SDS)をご参照ください。■本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は、事前に相談ください。

日本ペイント株式会社

北海道支店 ☎011-370-3101

東北支店 ☎022-232-6711

関東支店 ☎03-5479-3614

北関東信越支店 ☎03-5479-3614

中部支店 ☎052-461-1960

近畿支店 ☎06-6455-9608

中国支店 ☎082-281-2180

四国支店 ☎0877-56-2346

九州支店 ☎092-751-9861

お家のカラーコーディネートガイド

無料メールマガジンの読者募集



ペイント
かわら版



カタログNo.
NP-C092
NP240605T
2024年6月現在